

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-6300
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	学校教育における食育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるため、学校教育における食育の推進を図る。				
年度概要	朝日新町学校給食センターでの各種食育関連行事の開催等 市内各調理場の状況に応じたアレルギー対応 私立幼稚園の園児・保護者への指導を通じた、幼児期からの食育の推進 地域の特色ある献立の実施				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	食育基本法、学校給食法

【事業の目的】

対象（何を）	小・中学校、幼稚園の児童生徒及び園児
意図（どのような状態にしたいか）	様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する知識を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
食に関する年間指導計画を作成している学校数	校	0	0	69	69	69
食に関する年間指導計画を作成している学校の割合	%	0	0	100	100	100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		学校給食における県産食材使用率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	46.4 46.5	46.4
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	県産食材の使用については、県の補助事業を活用し、積極的に県産食材を取り入れた結果、目標を達成できた。			(目標達成度) 100.2%				
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		食育セミナー開催回数	回	目標値 実績値	0 0	0 0	4 3	4
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	食育セミナーについては、「かんきつ収穫体験」が雨天のため中止となったが、その他は予定どおり実施できた。			(目標達成度) 75.0%				
			(得点) 26点					

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	14,048	14,654	15,886	16,260
(事業費)	[千円]	5,292	5,847	6,854	7,228
(職員人件費)	[千円]	8,756	8,807	9,032	9,032

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	朝日新町学校給食センターでの各種食育関連行事の開催等 市内各調理場の状況に応じたアレルギー対応 私立幼稚園の園児・保護者への指導を通じた、幼児期からの食育の推進 地域の特色ある献立の実施	～ 会計年度任用職員栄養士報酬等 6,854千円	総額	6,854	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	6,854				
令和 7 年度	朝日新町学校給食センターでの各種食育関連行事の開催等 市内各調理場の状況に応じたアレルギー対応 私立幼稚園の園児・保護者への指導を通じた、幼児期からの食育の推進 地域の特色ある献立の実施	～ 会計年度任用職員栄養士報酬等 7,228千円	総額	7,228	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	7,228				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	83 / 100 (83%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

県産食材については、県の補助事業を活用し、積極的に県産食材を取り入れた結果、目標を達成できた。食育セミナーについては、「かんきつ収穫体験」が雨天のため中止となったが、その他のセミナーは予定どおり実施できた。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

朝日新町学校給食センターを食育の拠点として活用し、食育セミナーの開催等引き続き食育の推進に努めるとともに、県産食材使用率の目標を達成することができるよう、関係機関と協議する。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-811-6300
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	学校給食推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童生徒が学校給食を通じて、正しい食習慣や健康管理能力を身に付けることができるよう、給食関係職員への研修等を実施し、学校における食に関する指導の充実を図るとともに、各衛生検査の実施により、衛生管理の徹底を図る。			
年度概要	栄養教諭・栄養職員・教職員・調理従事者に対する研修会の実施 学校給食研究会への補助 各衛生検査の実施			
重点取組事業		市長マニフェスト	関連根拠法令	学校給食法等

【事業の目的】

対象（何を）	栄養教諭・栄養職員・教職員・調理従事者
意図（どのような状態にしたいか）	学校給食に関する知識の習得等により、資質等の向上及び学校給食の充実を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
研修開催回数	回	0	0	16	16	12

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		研修参加率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	95 90	95
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	学校行事や他研修会等との重複などによる欠席者があったが、おおむね目標を達成することができた。			(目標達成度) 94.7%	(得点) 33点			
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
				(目標達成度)	(得点)			

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	13,512	14,204	14,889	15,954
(事業費)	[千円]	5,280	5,924	6,397	7,462
(職員人件費)	[千円]	8,232	8,280	8,492	8,492

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	栄養教諭・栄養職員・教職員・調理従事者に対する研修会の実施 学校給食研究会への補助 各衛生検査の実施	委託料 2,526千円	特定財源	総額	6,397
		負担金及び補助金 144千円		国	0
		検便等手数料 3,485千円		県	0
		その他 237千円		市債	0
				他	32
			一般財源	6,365	
令和 7 年度	栄養教諭・栄養職員・教職員・調理従事者に対する研修会の実施 学校給食研究会への補助 各衛生検査の実施	委託料 2,584千円	特定財源	総額	7,462
		検便等手数料 4,344千円		国	0
		負担金及び補助金 194千円		県	0
		その他 340千円		市債	0
				他	107
			一般財源	7,355	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

学校における食に関する指導、危機管理、学校給食における衛生管理、新しい献立の開発等をテーマに研修を実施した。
学校行事や他研修会等との重複などによる欠席者があり、目標が達成できなかった。研修内容については、今後も、現場の状況や要望に応じたテーマを、随時検討する必要がある。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

研修内容について、現場の状況や要望に対応できるよう、毎年見直しを行う。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2657
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	生徒等健康診断事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童生徒等の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的とし、学校保健安全法に基づき、毎学年6月末までに児童生徒等の健康診断を実施するとともに、小児生活習慣病予防検診を実施する。 また、翌年度に小学校に就学する児童の健康状態等を把握するため、学校保健安全法に基づき健康診断を実施する。			
年度概要	小学校児童の健康診断、小児生活習慣病予防検診 中学校生徒の健康診断、小児生活習慣病予防検診 高等学校生徒の健康診断 就学時健康診断			
重点取組事業	市長マニフェスト	関連根拠法令	学校保健安全法第11条、第13条	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市立の小中学校及び一高の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	疾病の早期発見、治療指導等保健管理の充実を図る。 子どもの頃から自分の健康状態を知り、よい生活習慣を身につけるとともに、生涯にわたって健康な生活を送ることができるようにする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
学校医出校指導のべ回数	回	0	0	1,712	1,600	1,600

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
		二次検診の受診率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	65 54.4	65	65
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
	感染症拡大防止対策の観点からの受診機会の減少に伴い、受診率は横ばい傾向となっている。引き続き、小児生活習慣病予防検診に対する意識啓発に取り組む。			(目標達成度)	83.7%				
				(得点)	29点				
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）								
				(目標達成度)					
				(得点)					

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	164,583	155,492	155,399	158,080
(事業費)	[千円]	153,357	144,201	143,819	146,500
(職員人件費)	[千円]	11,226	11,291	11,580	11,580

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			総額		
令和 6 年度	小学校児童の健康診断、小児生活習慣病予防検診 中学校生徒の健康診断、小児生活習慣病予防検診 高等学校生徒の健康診断 就学時健康診断	95,933千円 43,954千円 2,864千円 1,069千円	総額	143,819	
			特定財源	国	111
				県	3,381
				市債	0
				他	0
一般財源	140,327				
令和 7 年度	小学校児童の健康診断、小児生活習慣病予防検診 中学校生徒の健康診断、小児生活習慣病予防検診 高等学校生徒の健康診断 就学時健康診断	97,001千円 45,414千円 2,988千円 1,097千円	総額	146,500	
			特定財源	国	111
				県	3,290
				市債	0
				他	0
一般財源	143,099				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	84 / 100 (84%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

児童生徒が、早い時期から自身の健康状態を把握することにより、良い生活習慣を身につけるきっかけとなっている。今後も、家庭等と密に連携し、児童生徒の健康の保持増進を図っていく。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

児童生徒にとって、定期的に自身の健康状態を把握する機会は重要である。学校において、その結果や傾向をもとに健康教育を推進することは、児童生徒の健康生活を実践する意欲を高め、生涯にわたって健康的な生活を送るための基盤づくりとなることから、今後も家庭等との連携を密にし、児童生徒の健康の保持増進を図る。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2657
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	学校体育推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	児童生徒の交流の場として体育大会等を開催し、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成を図る。			
年度概要	小学校：陸上記録会の開催、課外活動等外部講師の派遣 中学校：高松地区中学校体育大会の開催及び参加生徒輸送補助、全国中学校体育大会・四国中学校総合体育大会への参加生徒輸送補助、運動部活動外部講師の派遣等			
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令

【事業の目的】

対象（何を）	高松市立小中学校の児童生徒
意図（どのような状態にしたいか）	各種体育大会等を開催することで、児童生徒の体力・運動能力向上を図り、交流の場を提供する。また、学校体育の中で、各学校の特色ある「体力向上プラン」を実践し、児童生徒の体力づくりの推進と改善に努め、運動習慣の確立を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
特色ある「体力向上プラン」を実践している小中学校	学校数	0	0	71	70	70

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		全国調査にて本市平均が全国平均を上回るか同等の項目	項目数	目標値 実績値	0 0	0 0	14 14	14
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	中学校女子においては、全種目で前回調査（令和5年度）より下回ったものの、小学校男女及び中学校男子において、前回調査（令和5年度）から上昇したものがあり、目標を達成できた。							
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	中学校女子においては、全種目で前回調査（令和5年度）より下回ったものの、小学校男女及び中学校男子において、前回調査（令和5年度）から上昇したものがあり、目標を達成できた。							

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	43,754	44,623	33,093	33,838
(事業費)	[千円]	32,528	33,332	26,145	26,890
(職員人件費)	[千円]	11,226	11,291	6,948	6,948

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	小学校：陸上記録会の開催、課外活動等外部講師の派遣 中学校：高松地区中学校体育大会の開催及び参加生徒輸 送補助、全国中学校体育大会・四国中学校総合体育大会へ の参加生徒輸送補助、運動部活動外部講師の派遣等	2,508千円 23,637千円	総額	26,145	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	26,145				
令和 7 年度	小学校：陸上記録会の開催、課外活動等外部講師の派遣 中学校：高松地区中学校体育大会の開催及び参加生徒輸 送補助、全国中学校体育大会・四国中学校総合体育大会へ の参加生徒輸送補助、運動部活動外部講師の派遣等	2,880千円 24,010千円	総額	26,890	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源	26,890				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】 (評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果において、体力合計点は、前回調査(令和5年度)から小学校男子は上回り、小学校女子及び中学校男女は下回った。授業内容の工夫や様々な取組の好事例を紹介することで、体力・運動能力の向上を目指す。

【今後の事業方針】 (評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

運動習慣に関して二極化が進んでおり、運動好きな児童生徒を育成するため、授業内容の工夫や様々な取組への参加啓発や好事例を紹介していく。また、健康三原則の重要性を家庭や地域に啓発し、連携の推進を行っていく。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学校教育の充実		電話番号	087-839-2657
	取組方針	豊かな心と健やかな体を育む教育の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	部活動の地域移行推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	運動部活動指導従事に伴う教職員負担軽減のため、学校における部活動指導方針に沿い、運動部活動指導員を積極的に配置する。 また、運動部活動の地域展開をスムーズに行うため、合同活動や拠点活動における学校間の調整や、受け皿となる団体の掘り起こしを行うコーディネーターを設置するとともに、検討委員会の設置とモデル事業を行う。				
年度概要	モデル事業 コーディネーター配置支援等体制整備 部活動指導員配置 地域部活動検討委員会				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト	7-	関連根拠法令	高松市地域部活動検討委員会設置要綱等

【事業の目的】

対象（何を）	高松市立中学校の生徒
意図（どのような状態にしたいか）	将来にわたり生徒がスポーツ活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、中学校部活動の地域移行に向けて、モデル事業やコーディネーターの配置等の実証事業に取り組む。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
地域移行に向けたモデル事業に取り組む市立中学校数	校	0	0	3	5	10

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	成果指標設定なし	件	目標値 実績値	0 0	0 0	0 0	0	0
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	成果指標については、令和7年度中に公表される予定の令和8年度以降の国の方針に基づき、本市の方針が固まってから設定する。							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	成果指標については、令和7年度中に公表される予定の令和8年度以降の国の方針に基づき、本市の方針が固まってから設定する。							
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	19,620	35,482
(事業費)	[千円]	0	0	14,988	30,850
(職員人件費)	[千円]	0	0	4,632	4,632

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	モデル事業 コーディネーター配置支援等体制整備 部活動指導員配置 地域部活動検討委員会	1,854千円 6,609千円 6,460千円 65千円	総額	14,988	
			特定財源	国	7,790
				県	3,838
				市債	0
				他	77
一般財源	3,283				
令和 7 年度	モデル事業 コーディネーター配置支援等体制整備 部活動指導員配置 地域部活動検討委員会	4,739千円 3,042千円 22,959千円 110千円	総額	30,850	
			特定財源	国	7,733
				県	13,848
				市債	0
				他	45
一般財源	9,224				

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%~ 100%)	B	総合点 (率)	18 / 30 (60%)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

高松市立中学校の部活動地域移行支援コーディネーターを設置し、学校や地域の現状や課題について聞き取りを行い、運動部活動の地域移行に向けて様々な提案を受けたり、モデル事業を実施した結果や検討委員会での意見を踏まえ、今後の方針について検討していく必要がある。また、運動部活動指導員の積極的な配置により、顧問の負担軽減につながった。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

成果指標については、令和7年度中に公表される予定の令和8年度以降の国の方針に基づき、本市の方針が固まってから設定する。

令和 7年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	人を育み、多様な生き方が尊重されるまち	評価担当	局名	教育局
	政策	個性を伸ばし、一人ひとりが輝く教育の充実		課(室)名	保健体育課
	施策	学びを支援する教育環境の充実		電話番号	087-811-6300
	取組方針	学校教育施設の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	学校給食調理場整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	安全で安心な学校給食の提供を行うため、施設の老朽化が著しい学校給食調理場について、衛生管理を強化した施設とするなど、令和2年度に策定した「高松市学校給食調理場整備計画」等に基づき、計画的かつ効果的に整備を行う。				
年度概要	太田小学校配膳室整備及び受配準備 朝日新町学校給食センター厨房機器オーバーホール 朝日新町学校給食センターボイラー改修工事・工事監理 朝日新町学校給食センター外壁改修工事 朝日新町学校給食センター空調設備更新				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	学校給食法、高松市学校給食調理場整備指針

【事業の目的】

対象（何を）	学校給食調理場
意図（どのような状態にしたいか）	児童生徒に安全で安心な学校給食を提供するため、衛生管理を強化した施設を整備する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
学校給食調理場の増改築・改修・修繕等実施件数	件	0	0	4	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
		ドライ仕様の調理場から給食が提供される学校の比率	%	目標値 実績値	0 0	0 0	26 26	26
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	衛生管理を強化したドライ施設として計画的に整備することで、ドライ施設から給食が提供される学校が増加し、児童生徒が、健康的で快適に学習・生活できる学校教育環境を整えることができる。			(目標達成度) 100.0%				
			(得点) 35点					
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値 実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			(目標達成度)					
		(得点)						

【コストの推移】

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	38,624	65,515	113,995	206,876
(事業費)	[千円]	28,146	54,977	103,187	192,980
(職員人件費)	[千円]	10,478	10,538	10,808	13,896

【事業内容と事業費内訳】

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
			特定財源	一般財源	
令和 6 年度	朝日新町学校給食センター食器洗浄ラインオーバーホール 朝日新町学校給食センターボイラー3号機改修工事 朝日新町学校給食センター屋上階外壁改修工事 中央小学校給食共同調理場機器更新(真空冷却機) 学校給食共同調理場整備検討委員会 その他	57,090千円 19,800千円 6,769千円 12,320千円 37千円 71千円	総額	103,187	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	29,700
				他	2,000
			一般財源	71,487	
令和 7 年度	太田小学校配膳室整備及び受配準備 朝日新町学校給食センター厨房機器オーバーホール 朝日新町学校給食センターボイラー改修工事・工事監理 朝日新町学校給食センター外壁改修工事 朝日新町学校給食センター空調設備更新 朝日新町学校給食センターカートイン蒸し器更新 牟礼学校給食共同調理場機器更新(真空冷却機) 牟礼学校給食調理場厨房機器更新 学校給食共同調理場整備検討委員会	31,118千円 86,900千円 32,699千円 9,729千円 2,439千円 6,930千円 14,574千円 8,503千円 88千円	総額	192,980	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	40,300
				他	4,000
			一般財源	148,680	

【事業の評価】

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結びつくか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96%)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

学校給食調理場の老朽化に対応するため、調理機器の更新やオーバーホールのほか、施設の修繕等について計画的に行った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入)

学校給食調理場の老朽化が進行しており、学校給食に要求される衛生管理に対応し、今後も安定した学校給食を供給するためには、将来を見据えて計画的かつ効果的に施設整備を行う必要がある。
また、運営方式の検討も必要である。